Minitab® 22.6 Statistical Software

Minitab 22.6の新機能 1

Minitab 22.6で解決された問題 2

デスクトップおよびWebアプリケーション 2

デスクトップアプリケーションのみ 2

Webアプリケーションのみ 2

既知の問題と回避策 2

Minitab 22.6の新機能

拡張管理限界を使用するシューハート管理図
Xbar-R、Xbar-S、Xbar、I-MR、および個別値管理図で、拡張管理限界を使用できるようになりました。この限界は、工具の摩耗、原材料の変更、供給業者の変更などによる許容可能な工程平均の変動に対応するため、重要なシグナルに注目できます。

合否判定管理図
合否判定管理図は、Minitab Statistical Softwareで規格限界に対する工程の許容性を監視するための、規格に基づく手法を提供します。技術者は、生産で使用されるものと同じ合否判定に基づく方法で工程の挙動を調査し、監視限界の維持に必要な手作業を減らし、AIAG/VDAに準拠した品質管理を支援できます。

AIAG/VDA規格に準拠した工程能力指数
工程能力分析のダイアログに新しいオプションが追加され、AIAG/VDAの統合SPCマニュアルに準拠した工程能力指数および性能指数の名称を選択できるようになりました。これにより、業界を問わず結果の解釈と共有が容易になります。

信頼性分析のワークフローを簡素化
Minitab® Statistical Softwareで、信頼性の分布分析の設定と解釈がさらに容易になりました。複数のツールで使用するデータを一度に定義し、表示する結果をカスタマイズし、打ち切り観測値を確率プロット上に明確に表示できます。

対話型の時間重み付き管理図
対話型ナビゲーションと視覚的な一貫性の向上により、時間重み付き管理図をより効果的に探索し、パターンや特殊原因をより速く簡単に検出できます。

管理図のカスタマイズと探索
参照線と、管理限界および中心線の柔軟なラベルを使用して、対話型管理図をカスタマイズできます。

Welchのt検定で小数の自由度を使用
2サンプルt検定では、等分散を仮定しない場合（Welchのt検定）、小数の自由度を使用してp値と信頼区間を計算するようになりました。

統計出力の機能強化
1サンプルt検定および対応のあるt検定の検定表に自由度が表示されるようになりました。直交回帰の出力表も、他の線形モデル出力の形式と構造により近づくように改訂されました。

Minitab 22.6で解決された問題

デスクトップおよびWebアプリケーション

- 故障モードを指定した右打ち切り分布分析で、パラメータが正しい順序で表示されません。 (391787)
- 実証試験計画の結果に、すべての入力の詳細が含まれません。 (389118)

デスクトップアプリケーションのみ

- 小数点にカンマを使用するロケールでは、安定性分析ダイアログの規格比較に対する検証が正しくありません。 (391758)
- 地域と言語の一部の組み合わせで、グラフオプションペインの数値検証が正しくありません。 (394948)

Webアプリケーションのみ

- 出力テーブルをMicrosoft® Wordに貼り付けると、書式が正しく設定されません。 (267913)

既知の問題と回避策

項目 1

グラフメニューからヒストグラム、確率プロット、または経験CDFを作成して分布を指定すると、データオプションでエラーの原因となるデータを除外していても、Minitabが誤ったエラーを表示することがあります。 (143049)

回避策：グラフを作成する前に、**データ > ワークシートのサブセット**を使用して、問題のある値を除外した新しいワークシートを作成します。

回避策：正規分布を使用してグラフを作成し、グラフに表示された分布をダブルクリックして別の分布を指定します。

項目 2
ステップワイズ回帰を使用して工程変数を含む混合計画を分析し、ステップワイズ手順で1つ以上の工程変数が除外されると、除外された工程変数が係数ゼロで出力に表示されます。その結果、等高線、曲面、最適化プロットなどのモデルのグラフでは、これらの変数がモデルに含まれていないにもかかわらず、除外された工程変数が応答に影響を与えないことが示されます。 (9047)

回避策：除外された工程変数を含めずに、分析を再実行します。

項目 3
ビデオカードのドライバが古いか互換性がない場合、グラフの作成でパフォーマンスの問題が発生することがあります。 (6501)

回避策：ビデオカードのドライバを最新バージョンに更新すると、この問題が解決する場合があります。

回避策：**ファイル > オプション > グラフィックス > その他のグラフィックスオプション**を選択し、**ハードウェアアクセラレーションを無効にする**をオンにします。

項目 4
まれに、Minitabプロジェクトファイル（*.MPJ、*.MPX）が破損することがあります。 (124217, 7128)

回避策：プロジェクトのバックアップファイルを探します（破損したプロジェクトと同じフォルダにある、同じ名前の*.BAKファイル）。Minitabの新しいインスタンスを起動し、*.BAKファイルをMinitabにドラッグアンドドロップします。ほとんどの場合、これでプロジェクトを復元できます。復元できたら、直ちに新しいファイル名でプロジェクトを保存します。バックアップから復元できない場合は、Minitabテクニカルサポート（http://www.minitab.com/contact-us）にお問い合わせください。

項目 5
まれに、プロジェクトファイルを開く際に次のエラーメッセージが表示されることがあります。「プロジェクトファイルの読み込み中にエラーが発生しました：MYFILENAME.MPX。」 (8548, 8610, 8908)

回避策：プロジェクトのバックアップファイルを探します（破損したプロジェクトと同じフォルダにある、同じ名前の*.BAKファイル）。Minitabの新しいインスタンスを起動し、*.BAKファイルをMinitabにドラッグアンドドロップします。ほとんどの場合、これでプロジェクトを復元できます。復元できたら、直ちに新しいファイル名でプロジェクトを保存します。バックアップから復元できない場合は、Minitabテクニカルサポート（http://www.minitab.com/contact-us）にお問い合わせください。

項目 6
重みを使用するモデルに基づくグラフは、重み列のデータを変更しても、最新でないことが示されません。 (172888)

項目 7
テキストファイルを開く際、先頭の100行以上が空白である場合、または**インポートする最初の行**に100以上の値を入力した場合、プレビューウィンドウが空白になることがあります。 (175474)

項目 8
実行に時間がかかるマクロでは、標準ツールバーのキャンセルボタンが応答しません。 (179705)

回避策：キーボードショートカットCTRL+Breakを使用します。

項目 9
英語以外の言語で作成されたプロジェクトを英語で開くと、使用したダイアログが元の言語で表示されます。 (179748)

項目 10
平行座標プロットの凡例は、グラフのサイズを変更するまで完全に表示されないことがあります。 (182566)

項目 11
大量の出力をMinitab Workspace®またはCompanion by Minitabに送信すると、パフォーマンスの問題が発生することがあります。 (182523)

項目 12
Microsoft Word®に送信を使用しても、MinitabからMicrosoft Word®にすべての出力が送信されないことがあります。 (179956)

項目 13
出力ペインのコマンドレベルのコンテキストメニューから平行座標プロットを印刷できないことがあります。また、他のコマンドについてもコマンドレベルでの印刷ができなくなる場合があります。 (182664)

回避策：グラフのコンテキストメニューから平行座標プロットを印刷するか、Microsoft Word®/PowerPoint®にコピーまたは送信し、それらのアプリケーションから印刷します。

項目 14
オンラインリポジトリ（Microsoft OneDrive®またはGoogle Drive™）のプロジェクトで作業中にインターネット接続が切断されると、リポジトリ内のプロジェクトがロックされたままになることがあります。 (182648)

回避策：オンラインリポジトリで、プロジェクトをチェックインするか、チェックアウトを破棄します。

項目 15

Microsoft Edge®でGoogle Drive™のプロジェクトを共有するには、Microsoft Edge®のプライバシー設定で追跡防止を基本に変更します。 (182646)

項目 16
Microsoft OneDrive®を使用してWebアプリでワークシート（*.MTWおよび*.MWX）を開くには、**ファイル > 開く > ワークシート**を使用する必要があります。Microsoft OneDrive®からワークシートを直接開くことはできません。 (182652)

項目 17
Web版MinitabでSafari®を使用している場合、コンテキストメニューからCART®ツリー図の項目をコピーできません。 (182654)

回避策：ツリー図を選択し、Command+Cを使用します。

項目 18
Minitabプロジェクトをメールで共有する場合、受信者はプロジェクトをダウンロードすることしかできず、Webアプリで直接開くことはできません。 (182658)

回避策：Microsoft OneDrive®の共有ディレクトリに移動し、省略記号をクリックして、**プレビュー > 開く > Minitabで開く**を選択します。

項目 19
Minitab 22で、相対変数重要度グラフを含むCART®モデルがあるプロジェクトを作成した場合、そのプロジェクトをMinitab 20.1、20.1.2、または20.1.3で開くと、そのモデルに関連するCART®出力は一切表示されません。 (183463)

回避策：Minitab 22でプロジェクトを開きます。

項目 20
グラフビルダーのビン分割散布図は、仮想マシンでは表示されません。 (183779)

回避策：**ファイル > オプション > グラフィックス > その他のグラフィックスオプション**で、**ハードウェアアクセラレーションを無効にする**をオンにします。

項目 21
MinitabデスクトップアプリではGoogle Sheets™を開けません。 (183961)

項目 22
Microsoft Windows 8.1でリポジトリ（Microsoft OneDrive®およびGoogle Drive™）からプロジェクトを開くと、デスクトップアプリが終了します。 (184364)

回避策：Webアプリを使用するか、Microsoft Windows 10以降にアップグレードします。

項目 23
仮説検定用のアシスタントメニュー選択ダイアログで、テキストの配置がずれています。

回避策：

1. Minitab Statistical Softwareのデスクトップショートカットを右クリックします。
2. **プロパティ**を選択し、**互換性**を選択します。
3. **設定**で、**高DPI設定の変更**を選択します。
4. **高いDPIスケール設定の動作を上書きします**をオンにし、**システム**を選択します。
5. **OK**をクリックします。